



2019年 年頭のご挨拶



あけましておめでとうございます。

皆さまには輝かしい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

人口減少・少子高齢化や経済のグローバル化の進展など、社会経済を取り巻く環境の変化の中、十勝ではさまざまな課題解決に向けた取り組みが進められています。

これまで、帯広市をはじめとする十勝19市町村は地域一体となって「フードバレーとかち」を旗印に、農林漁業を成長産業にし、食の価値を創り出し、さらにはその魅力を広く発信することで、地域活力の向上につなげる取り組みを進めています。

当財団においては、昨年4月に、公益財団法人起業家支援財団（神奈川県）と合併し、地域の人づくりのための新たな人材育成事業をスタートし、創業・起業・事業創発の促進を図ってまいりました。「地域づくりは人づくり」のとおり、人がいなければ人材も企業も育ちません。

地域の産業活性化への貢献を目標に掲げている当財団といたしましても、これまでの取り組みを着実に「十勝の未来につなぐ「価値」の創出と向上を目指す」成果へつなげ、地域の企業が元気になり、人々が元気に豊かに暮らせる地域づくりに取り組んでまいります。

十勝地域の産業支援のプラットフォームを目指し、地域産業支援機関と連携し、皆さまと共に十勝の稼ぐ力を創り出すため、財団役職員力を合わせて取り組んでまいりますので、一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本年も、皆さまにとりまして希望に満ちた年となりますことをお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

十勝の未来につなぐ 「価値」の創出と向上を目指す

公益財団法人とかち財団



理事長 長澤秀行

